

## 民間企業等職務経験者職員の体験談(平成29年度採用)

職種:社会福祉

所属:あけぼの医療福祉センター

**現在、携わっている仕事内容を教えてください。**

私の所属する施設は重症心身障害児・者の入所施設です。主な業務は、ご利用児・者様の食事・入浴・排泄等、生活全般に関わる支援です。また、日中活動や行事の企画、運営等を行っています。各職員がご利用児・者様を担当しており、個々のニーズに基づいた支援計画を作成し、実践、評価を行っています。医療的ケアが必要なご利用児・者様が多いため、看護師や医師等との連携が不可欠な職場だと感じています。

**山梨県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。**

**Uターン・Iターンの方はその理由もお聞かせください。**

結婚を機に山梨県に転居し、仕事を決める際に、社会に貢献できること、学んできた知識や経験を活かし、更に勉強をしながらそれらを深められることができる職場を考えました。そこで山梨県全域で多種多様な分野で働くことができる社会福祉 を選択しました。

**県職員になる前に抱いていた県職員・県庁のイメージと違ったことはありましたか。**

相談業務等の窓口業務が多いイメージでしたが、直接支援を行う機会が多い点に驚きました。現場にいないとわからない声を聴くことができ、とても貴重な体験だと感じています。

**県職員になる前に抱えていた不安は何ですか。また、仕事をする中でその不安はどうなりましたか。**

様々な福祉分野で仕事ができることが魅力でしたが、他方で、初めての業種に適應できるかが不安でした。しかし、上司や同僚が丁寧に教えてくださったので不安を払拭することができました。

**これまで業務に従事したなかで、最も大変だったことは何ですか。**

入職して間もない頃は、行事の企画・運営に苦労しました。ご利用児・者様の特性や趣向を把握することができていなかったため、車の手配や外出場所等を決めることにも時間を要しました。

**職場の雰囲気はどうか。また、上司や先輩はどんな方ですか。**

病棟は温かな家庭のような雰囲気です。上司や先輩は、いつでも助言や指導をしてくださるため、安心して働くことができます。

**県職員になってよかったと思うこと(うれしかったこと)は何ですか。**

ご利用児・者様と喜びや楽しさを共有できることや、研修の機会が多く、学びながら仕事ができ、自己成長できることです。

**民間企業との違いを感じた時はどんな時ですか。**

施設内外で他機関と連携をとる時、民間企業は領域が限定的でしたが、公的機関では広域になり、地域との役割分担が明確で、より幅広い視点が必要になると感じました。

**民間企業での経験が役に立ったできごとを教えてください。**

ご利用児・者様の想いや声に耳を傾け、気持ちに寄り添い、個々のニーズに沿ったサービスを提供してきた経験が、現在の現場にも活かしているように感じます。

**受験生へのメッセージ(受験対策等)をお願いします。**

私は試験を通して、自己と向き合い本当にやりたいことを発見でき、集団討論では多様な考えに触れることができとても楽しかったことを覚えています。入職してからも、更に新たな発見と、様々な価値観に触れる機会があり、成長できる機会がたくさんあります。一緒に働けることを楽しみにしています。